



富士見市立西中学校 西中だより 5月2号 #3 (体育祭速報) 令和6年5月20日 第3号 生徒数/402名 文責/堀川博基

みずほの丘の希望

F354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

第46回 体育祭

体育祭にこんなにも「熱く」なれるのはなぜだ...? 「勝敗」「心身の発達」「体力の向上」「自主・自発」「協力」...そんなにも堅苦しいことか...

違うだろ「仲間」だろ!隣りに仲間が居てくれることがすべてだろ! 歓喜! 仲間との涙! 仲間との汗! 仲間との全力! それですべてじゃないのか! 令和6年度西中学校体育祭...この思い出を一生語ることでできる仲間はできたのか...? 仲間って最高じゃないか...! その記憶を一生留めておけ...!

全力を、やめられない! 努力が、とまらない! 勝(かつ) 晴(ば) 笑(え) 美(び) 戦(せん)

全力をやめられない! 晴ればれと **美**しく **努力がとまらない! 勝**利を目指し **笑**顔で **戦**おう!

令和6年度第46回富士見市立西中学校体育祭スローガン

いま流行の昭和レトロをモチーフにしたスローガン...ピックアップしたのは、翌日ほとんどの生徒がこのスローガンをロズさんでいたこと...



過去2年間の呪縛が解けた...。3年生にとっては初めての青空の下での体育祭。5月としては暑すぎるくらいコンディションであったが...グラウンドが暑かったのは気温だけの影響ではない...。05/18西中グラウンドにあの熱気呼び込んだのは、西中生402名の...職員46名の...そして地域・保護者の方々の...「熱(ネツ)」でしかない!

新年度がはじまってから生徒たちは全力で走り続けた。4月11日の色団抽選でカラーが決まる。今年度1年間の自分を象徴する色だ。これにより先輩と、後輩とつながった。昼休みに、学活に...隙間時間をつくりだしては、走り、跳び、声を張り、全力を出し切った...。長期にわたる練習、ひとつの事をやり遂げる...。そんなに簡単な事じゃない。「仲間とも切磋琢磨した」「職員とも侃々諤々思いをぶつけた」「超えられない壁に意気消沈もした」...。それだから体育祭だ。それだから学校行事だ。波瀾万丈に満ちた行事でなければ、やり切ったって薄味でしかない。仲間との切磋琢磨が仲間の大切さを教えてくれた。職員との侃々諤々が大人への成長を一步進めてくれた。超えられない壁が無理はあきらめるものではなく、超えるものだを教えてくれた。

清々しい夕方の爽風に吹かれつつ、疲労困憊の表情を隠しせず、生徒たちは帰路についていた。下校を見送る私に生徒たちが声をかけてくる。「体育祭、超楽しかった」「疲れた...でも気持ちいい」「また、やりたい」「来年は応援団やりますから...」。一人の生徒がニコニコと言ってきた。「校長先生、西中大好きです」...私にとって、職員にとって、最高の誉め言葉だ...

今日、倒れたのなら...明日、立ち上がればいい...その繰り返して人は前へ進む...



やっぱり大切なのは...あきらめないこと...

▶あきらめないこと。どんな事態に直面してもあきらめないこと。結局、私のしたことは、それだけのことだったのかも知れない。(冒険家/植村直己)
■「走るのか? 止まるのか?」「やるのか? やらされるのか?」「逃げるのか? 追いつけるのか?」「あきらめるのか? やり切るのか?」...。この体育祭のひとつひとつの競技...本当に小さな小さな事だけど、自分に嘘をつかずやりきった事実は、今後の人生の大きな「糧」になるのは間違いない。上記のすべてにおいて共通することがある...。それは、すべて自分が決めるという事実...。あなたは、体育祭の競技ひとつひとつに、正直に悔いなくやりきることができましたか? 自分に嘘をつかずに本気で...。競技後の君たち一人一人の表情そのものが...あきらめなかったことを証明してくれた...!



令和6年度 第46回富士見市立西中学校体育祭 全成績

宇宙が透けて見える「青天」の五月晴れ 天は「青团」の勝利を運命としたのか?

| 総合結果 | 優勝 | 準優勝 | 学年優勝 |
|------|-----|-----|------|
| 1学年 | 青3組 | 緑2組 | 1組・赤 |
| 2学年 | 青4組 | 緑3組 | 4組・青 |
| 3学年 | 青3組 | 緑1組 | 2組・黄 |

| | 1学年 | 2学年 | 3学年 |
|----------|------------|-------------------|------------|
| ムカデ競争 | 青3組 | 黄2組 | 緑1組 |
| 台風の日 | 青3組 | 青4組 | 緑1組 |
| 翔んで埼玉 | 緑4組 | 緑3組 | 緑1組 |
| 女子400mR | 赤1組 | 緑3組 | 黄2組 |
| 男子800mR | 赤1組 | 青1組 | 青3組 |
| ビーチフラッグ | 赤3勝 緑1勝 | 黄1勝 緑1勝 青2勝 | 緑2勝 赤2勝 |
| スウェーデンR | ①青 | ②赤 | ③黄 ④緑 |
| 綱引き | ①赤 | ②黄 | ③青 ④緑 |
| 大縄跳び | 緑2組 回 | 緑3組 回 | 緑1組 回 |
| 2人3脚障害物R | 青3組 | 青4組 | 赤1組 |
| 全員R | 赤1組 | 黄2組 | 黄2組 |

人生には二通りの生き方しかない…。
ひとつは、
奇跡など何も起こらないと思って生きること…。

もうひとつは、
あらゆるものが奇跡だと思って生きること…。
2024.05.18の1日も、ひとつの奇跡だと私は思う。

応援していると、
なぜかワクワクする…。
応援されると、
なぜかドキドキする…。
やっぱり人は、
一人では生きられないんだらう…。



■4人の応援団長は誰一人とも引かなかった。閉会式後の団長からのひと言…4人とも自分が一番やり切ったと主張し一歩も譲らない…。それだけの「手応え」と「誇り」を感じたに違いない。4月からここまで声をからし、自団を鼓舞した。日本中で一番大声を出し続けた中学生かも知れない。今回の体育祭の成功…それは団長4人が「西中生と職員46人、千人以上の来校者の皆さん」をつなげてくれたからだ…。



■「全員が声を合わせる」「全員が体勢を合わせる」「全員がタイミングを合わせる」「全員がバトンを合わせる」…。体育祭の醍醐味は「全員が心を合わせる」ことだろう。だから「大縄跳び」も「全員リレー」も感動するのだと思う。24人の回し手の諸君、「腰」大丈夫か? 君たちの努力が西中全員をひとつにしたのは間違いない事実だ。ありがとう。
■人生で「全員で～を合わせる」そんなことは何回あるのだろう? そんなには思えない…。この体育祭の一番の成果、それは「ひとりぼっちじゃない。それを知ることができたこと…」。

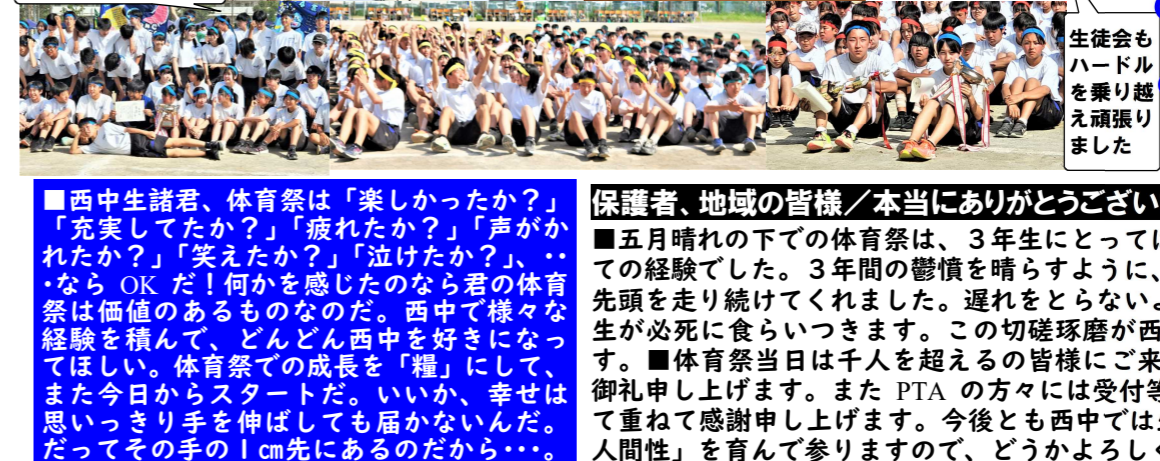


百足競争
台風の目
二人三脚
海岸旗取
飛翔埼玉
痛快無比

■体育祭の絶対条件…まずは「楽しむ!」。これに尽きる。ただ…楽しむというのは「楽(らく)」なようで結構大変だ。本気だったり、全力だったり、一生懸命だったり、真剣だったり…「楽しむ!」にはそんな事が火「強う何だと思ふ。
■この体育祭を成功させた君たちにはわかるはずだ。この体育祭は単純に楽しむだけのものではないことを…今日からの日常に生きてこそ体育祭の成功が確認できるんだ。日常のための行事だということを忘れるな!



現み夢一
実んで人
となして
なでか見
なる見なる
るい夢は
夢は



■西中生諸君、体育祭は「楽しかったか?」「充実したか?」「疲れたか?」「声がかれたか?」「笑えたか?」「泣けたか?」、…なら OK だ!何かを感じたのなら君の体育祭は価値のあるものなのだ。西中で様々な経験を積んで、どんどん西中を好きになってほしい。体育祭での成長を「糧」にして、また今日からスタート。いいか、幸せは思いっきり手を伸ばしても届かないんだ。だってその手の1cm先にあるのだから…。

保護者、地域の皆様/本当にありがとうございました
■五月晴れの下での体育祭は、3年生にとってはじめての経験でした。3年間の鬱憤を晴らすように、3年先頭を走り続けてくれました。遅れをとらないよう一生が必死に食らいつきます。この切磋琢磨が西中生を。■体育祭当日は千人を超えるの皆様にご来校いただいた御礼申し上げます。また PTA の方々には受付等ご協力をいただきまして重ねて感謝申し上げます。今後とも西中では生徒の切磋琢磨により「豊かな人間性」を育て参りますので、どうかよろしくお願いたします。